

あぐね場



7月

No.257

阿中にプール送水施設

補正 四千六万円も 予算

昭和四十三年阿久根市第二回定例市議会は、六月十五日から十八日まで開かれ、報告一件、認定一件、同意二件、補正予算議案などそれぞれ原案どおり可決しました。

第二回定例市議会

報告一件は、繰越明許費

の報告で、認定一件は、市道路線、的場堀入線六三メートル、飛松割石岡線一三五メートル、大川島割石岡線九四メートル、長迫下道尻線一四三メートル、尻瓶岩下線一四一メートル、尻瓶兵之段線二四二メートル、鈴木段磯辺線一一五メートル、それぞれ市道に認定されました。

同意二件は、固定資産評価委員と監査委員の選任でした。

固定資産評価委員の恒吉金壽氏の辞任により、花田岩雄氏が選任されました。監査委員の任期満了により、島飼重明氏が再び選任されました。

地方税法の改正にともない、市税条例の整備と、国民健康保険税の税率が安くなりました。

一般会計に四千六万円の補正予算が可決されました。そのおもなものは

●総務費 二一六万円

●農林水産業費 一、九七五万円

●商工費 六一万円

●教育費 七三五万円

●衛生費 一一万円

●共同炊事 一、九七五万円

そのほか、松くい虫駆除として、市内全域に薬剤散布補助などです。水産関係では、並型魚礁設置事業および築いそ工事などを行ないます。

また、公園整備の補助でいまの公園に、スベリ台、ブランコなどを新たに新設し、駅前公園の整備補助、集会所工事費補助、これは赤瀬川牛島瀬にできるものです。

このほか、阿久根市をはじめ、各農協、改良普及所の協力により行なわれるものです。

そのほか、大丸水路工事不足分補助、大橋川浚渫工事補助、この川は全長四五六メートルあります。雑草

そのほか、池田内中学校普賢堂ならびに放送室、便所改修工事補助などです。

このほか、阿久根市を初め、各農協、改良普及所の協力により行なわれるものです。

構造改善事業第一次の二年度分として、水田上部落のみかん園共同防除かん水兼用施設補助および設計委託料補助などです。

この調査は、民生(児童)委員を通じて行ない、人身、体障者者、要保護児童、母子(未亡人)、これは該当される人たちの福祉に欠ける状態を正しくとらえ、こんどの福祉施設を大きく、進展させるためのものです。

また、この経費は安く、そしてカローリーは高く、改良普及所の、西、石橋岡先生の指導のもとにエスカレーターシヨンのに行なわれています。

工事地区は、上中津原、黒之上、瀬之浦上、大下地区で、深さ六〇メートルから一〇〇メートルの深さにボーリングされます。

この調査は、民生(児童)委員を通じて行ない、人身、体障者者、要保護児童、母子(未亡人)、これは該当される人たちの福祉に欠ける状態を正しくとらえ、こんどの福祉施設を大きく、進展させるためのものです。

また、この経費は安く、そしてカローリーは高く、改良普及所の、西、石橋岡先生の指導のもとにエスカレーターシヨンのに行なわれています。

また、干害対策として、水資源開発工事費がおもなものです。

また、この経費は安く、そしてカローリーは高く、改良普及所の、西、石橋岡先生の指導のもとにエスカレーターシヨンのに行なわれています。

また、この経費は安く、そしてカローリーは高く、改良普及所の、西、石橋岡先生の指導のもとにエスカレーターシヨンのに行なわれています。



(補正予算審議中の議会)

共同炊事

棚野下部落で共同炊事、これは農繁期の主婦の手を少しでもはなす、また、タンパク質脂肪不足を補うため、カローリーのバランスをたもち、過労を防ぐために共同炊事が始まったものです。

これは、阿久根市をはじめ、各農協、改良普及所の協力により行なわれるものです。

ここで、棚野下部落は初めてのことろみで、七戸の農家が、婦人会長、大野さんかたで行なっているものです。

これで、仕事にも安心して働らくことができ、おいしく、食事もはすみますと、よるこんでいらっしゃいます。

また、この経費は安く、そしてカローリーは高く、改良普及所の、西、石橋岡先生の指導のもとにエスカレーターシヨンのに行なわれています。

このほか、阿久根市を初め、各農協、改良普及所の協力により行なわれるものです。

農業の近代化を

第一・四半期市政報告



(市政報告中の市長)

さきがけ六月四日干害対策本部を設置いたしました。

そして、飲料水関係は総務課で、農作物関係については農政課において取り扱っています。

昭和四十三年度第一・四半期分の施政について簡単に報告申し上げます。

まず、阿久根市交通共済についてでございますが、六月十日現在で、本年度加入者は七、七一九人で、会費二、八一七、四三五円納入されました。

これに対し被害者見舞金は四件の一〇万円支払われています。

また、農業の近代化と農業後継者が残る環境づくりのため、農業後継者と親との話し合いも開かれました。建設関係では、鴨子橋改良工事も六月三日完成、寺山団地の原住住宅敷地造成工事も七月完成をめざして工事を進めております。

また、観光客が明るく環境と安全をはかるため、大鳥や楯本浜、大川島などに公衆便所、水泳監視塔をつくるなど、キャンプ場、海水浴場の施設整備を急いでいます。

また、と畜場の排水路を清掃し、漏れき施設も完成しました。上水道関係では、さる三月エビノ地震によって水源地の水位が低下したため、災害復旧申請を厚生省と大蔵省に出しましたところ、災害として採択されましたので、五割の国庫補助がある予定です。

(完成間近かい高松川防災ダム)

夏バテ

七月も中旬を過ぎると暑さもいよいよ本格的になってきます。

日本の夏は、温度と湿度が高いため、とくに体にこたえます。

どんなに日ごろ健康を誇っている人も、この高温多湿の夏になると、ひどく疲れを感じるようになります。

これは、温度や湿度や気圧の変化で、体内のホルモンのバランスがくずれるからだといわれます。

夏まけを防ぐ点として、①ビタミン類を豊富にとること。②体内の新陳代謝をよくするために、「酸」をとることです。

よく、酸れたときに甘いものを食べるとよいといわれますが、甘いものを吸収するために、多量のB₂が必要になります。

それだけでなく夏は、B₂の消費が盛んですからかえって体がだるくなるということになりかねません。

むしろ、梅干し、すっぱいもの、酢のきいた野菜サラダ類を多くとるよう心がけが賢明といふことになります。

ただ、あまり神経質にあれやこれやを考えすぎると、かえってマイナスになります。

要は、バラエティに富んだ食事をじゅうぶんとり、よく眠る……これがなによりもたいせつです。

季節の話題

ことしの土用の丑の日 は月末の三十日です、うなぎは、良質のタンパク質に富んでいますので、暑熱のいちばんきびしい七月下旬に、これを食べることは、いわば生活の知恵といえます。

●くらし
七月は比較的公の行事が少なく、その反面、民間行事、お祭りなどの多い月です。

おとうさん、おかあさんも二、三日ひまをつくって、ぜひ「自然に親しむ」よう心がけてはいかがですか。

●虫ほし
下旬には学校の暑中休暇が始まり、海や山へ出かけに行くことも多いため、親ごさんたちはいろいろな心づかいをすることになります。

子どもたちばかりでなく、天候の定まらないとき、

水泳は二人一組で

夏に多い子どもたちの事故

いよいよ子どもたちにとっても楽しい季節になり荷持ちを持った夏休みが始まります。

夏は子どもにとって楽しい季節、それは水と遊べるからです。

夢中でとんぼとりや水とたわむれる子どもたちの姿は、ほほえましい夏の風物です。

しかしちよつとしたゆだんや不注意から多くの幼ない命が水にさらわれていきます。

水の事故で一番多いのが遊んでいるうちに、小川や用水路などに落ちた幼児の事故で、つぎに小学生の水泳中の事故となっています。

昨年県下では、六、七、



水泳中の事故

- 水に入る前に人数をよく確かめ、二人で一組の組をつくらなければならないように指導する。
- 準備体操をさせ、静かに水に入らせる。
- 水泳中は三十分おきに十分ぐらい岸にあげ

- 合同用のフェ、旗など
 - 救助用の竹ざお、細ひも
 - 事故が起きたときの連絡方法を考えしておく。
- 前もって準備

- 合図用のフェ、旗など
 - 救助用の竹ざお、細ひも
 - 事故が起きたときの連絡方法を考えしておく。
- 前もって準備

八月までの間に一番水難事故者が多く、阿久根市内でも多く発生しています。

しかもそのほとんどが高校生以下の子どもの事故です。

幼児が多いということは親の不注意や放任がその原因だと思えます。

「魚とりはあぶない」「水

●水に入る前に人数をよく確かめ、二人で一組の組をつくらなければならないように指導する。

●準備体操をさせ、静かに水に入らせる。

●水泳中は三十分おきに十分ぐらい岸にあげ

●合同用のフェ、旗など

●救助用の竹ざお、細ひも

●事故が起きたときの連絡方法を考えしておく。

子どもを楽しく安全に水泳させるには、事故があらすべく救助活動のできる

●合同用のフェ、旗など

●救助用の竹ざお、細ひも

●事故が起きたときの連絡方法を考えしておく。

●水に入る前に人数をよく確かめ、二人で一組の組をつくらなければならないように指導する。

●準備体操をさせ、静かに水に入らせる。

●水泳中は三十分おきに十分ぐらい岸にあげ

●合同用のフェ、旗など

●救助用の竹ざお、細ひも

●事故が起きたときの連絡方法を考えしておく。

子どもを楽しく安全に水泳させるには、事故があらすべく救助活動のできる

●合同用のフェ、旗など

●救助用の竹ざお、細ひも

●事故が起きたときの連絡方法を考えしておく。

●水に入る前に人数をよく確かめ、二人で一組の組をつくらなければならないように指導する。

●準備体操をさせ、静かに水に入らせる。

●水泳中は三十分おきに十分ぐらい岸にあげ

●合同用のフェ、旗など

●救助用の竹ざお、細ひも

●事故が起きたときの連絡方法を考えしておく。

子どもを楽しく安全に水泳させるには、事故があらすべく救助活動のできる

●合同用のフェ、旗など

●救助用の竹ざお、細ひも

●事故が起きたときの連絡方法を考えしておく。

●水に入る前に人数をよく確かめ、二人で一組の組をつくらなければならないように指導する。

●準備体操をさせ、静かに水に入らせる。

●水泳中は三十分おきに十分ぐらい岸にあげ

●合同用のフェ、旗など

●救助用の竹ざお、細ひも

●事故が起きたときの連絡方法を考えしておく。

子どもを楽しく安全に水泳させるには、事故があらすべく救助活動のできる

●合同用のフェ、旗など

●救助用の竹ざお、細ひも

●事故が起きたときの連絡方法を考えしておく。

●水に入る前に人数をよく確かめ、二人で一組の組をつくらなければならないように指導する。

●準備体操をさせ、静かに水に入らせる。

●水泳中は三十分おきに十分ぐらい岸にあげ

●合同用のフェ、旗など

●救助用の竹ざお、細ひも

●事故が起きたときの連絡方法を考えしておく。

子どもを楽しく安全に水泳させるには、事故があらすべく救助活動のできる

●合同用のフェ、旗など

●救助用の竹ざお、細ひも

●事故が起きたときの連絡方法を考えしておく。



くらしのシオリ

つゆが明けたら早速虫ほしです。からりと晴れた日をえらんで冬夜具、たんすの中の冬合物など、外に干せるものは外に、家の中で風を通すものはつなを

●水に入る前に人数をよく確かめ、二人で一組の組をつくらなければならないように指導する。

●準備体操をさせ、静かに水に入らせる。

●水泳中は三十分おきに十分ぐらい岸にあげ

●合同用のフェ、旗など

●救助用の竹ざお、細ひも

●事故が起きたときの連絡方法を考えしておく。

子どもを楽しく安全に水泳させるには、事故があらすべく救助活動のできる

夏やま手入れ

国土の緑化は、国土の安全を守り、森林資源を確保し、生活環境にうるおいを与え、美化を図るためにも多に役立っています。

森林資源の増強は、わが国の産業経済の発展と、国民生活の向上にもない、とくに必要となっています。

このため「植えたら必ず育てよう」をモットーに、夏山手入れ運動を推進し、国土緑化の目的達成を図るものであります。

●実施期間：八月末日まで

●実施要領

①夏山手入れコンクールを実施し、それぞれ感謝状がおくられます。

市民のみならず、夏山手入れはとくに七月が最適です。この期間をのがさず手入れし、立派な森林をつくりましょう。

申告所得税納期

申告所得税の納期は七月三十一日までです。
予金口座振替を申し出ていた場合は、七月二十日ごろ納付表を関係金融機関に直接送付します。

予金口座振替を申し出ていた場合は、七月十五日ごろ納付表を、個人に届くよう送付します。納付内に早めに、銀行、郵便局または税務署へ納めて下さい。

休業、廃業などにより、所得が著しく減少される見込みのかたは、予定納税額の減額承認申請書を七月十五日までに提出ください。また、詳しくは市役所の税務課または税務署におたずねください。(税務署)

社会を明るく

する運動

今年も犯罪のない明るい平和な郷土をつくりましょうと、社会を明るくする運

動の月がやってきました。この運動は、すべて国民が犯罪の防止と罪を犯した人の更生について理解を深め、すんでそれぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

社会から悪を追放し、明るい社会を築くためには、犯罪を憎み追放し、封じ込める努力をさらに一歩すすため、罪を犯した人をまともな社会の一員として受けあげることが是非とも必要です。

どんな小さな機会でもとらえて、あたたかい導きと教いの手をさしのべましょう。

付属電話機

市民のみなさん、こんなことでお困りのかたはありますか。

電話だ、とかかるたびに二階から下え、居間から店先きえと、飛び回ると、が

あると思いません。こんなときは



わざわざ席をたたくに、手近かな電話機から話しができます。

●取り付け費用

債券 一万円
工事費 実費
毎月の使用料 二〇〇円

お知らせ

その他わからないかたは 二一〇〇〇番 (阿久根電報電話局) へお問い合わせてください。

自衛官募集

自衛隊では本年度(七月から)第一次の、二等陸士

海士、空士を募集しています。

○年齢：十八歳以上二十四歳未満

○学歴：中学校卒業以上

○体格：身長一五五センチメートル以上

体重四七キログラム以上

○試験：学科試験(国数社理)、口述試験、身体検査

○試験：学科試験(国数社理)、口述試験、身体検査

不用犬を引き取ります

取ります

仔犬の処分や飼犬でいらなくなった犬の処分にお困りのかたは、市役所衛生係へご連絡ください。係では、毎週月曜日午前中に、出水保健の捕かき員に引き取りをしてもらうことにしています。

仔犬を放置し、野犬を飼さないようにしましょう。

九州高校ボクシング大会

国体ボクシング会場に内定



昭和四十七年に国体が鹿児島県で開催されます。その中のボクシング会場に阿久根市が内定しました。それにさきがけ、第二十一回九州高校ボクシング大会が、去る六月二十一日から二十三日まで、阿久根市民会館で開催されました。試合は団体戦をかわがりに、個人戦と引き続いて行なわれ、団体戦に鹿児島県から出場しましたが、善戦及ばず一回戦でやぶれ、個人戦に地元阿久根市からも出場しましたがおしくもやぶれました。

阿久根市では、三年後の団体をめざして、阿久根市からも立派な選手を出そうと力を入れています。

大島渡船時間表

(7月1日から8月31日まで)

阿久根港発	大島港発
6時30分	6時40分
7 30	7 40
8 30	8 40
9 00	9 10
9 30	9 40
10 00	10 10
10 30	10 40
11 00	11 10
11 40	11 50
12 30	12 40
13 20	13 30
14 00	14 10
15 00	15 10
16 00	16 10
17 00	17 10
18 00	18 10
19 30	19 40
20 30	20 40

7月、8月を除く時間表

9時40分	10時40分
11 40	13 00
13 30	14 20
15 30	16 50

(上記以外臨時便があります)

大島公衆 電話 2-1779番
※7月1日から8月まで開村期間中のみ



一日に500頭を処理

このほど阿久根市営下畜場に、ドイツ製の新鋭毛設備が完成しました。いままで一張づつ皮をはいていましたが、これから62度の熱湯につたし、毛をとるもので、いままでの能力からすると三倍の能率が上がります。これから阿久根市の畜産振興にも役立つこととなります。

いよいよ来年着工か

見通し明るい黒之瀬戸架橋



(黒之瀬戸架橋建設予定地)

これはこのほど道路公団の黒之瀬戸架橋調査団が、現地を調査した結果、本年度設計にとりかかり、来年度いよいよ工事費を計上したいということが明らかになつたものです。昭和三十八年に架橋促進期成同盟会(会長、丹宗阿

黒之瀬戸架橋が来年度着工の見通しがいよいよ明るくなりなりました。

久根市長)結成以来六年ぶりのことです。

この架橋は阿久根市黒之

の心構えといつたものをお

りまして、豊かなビジョン

浜橋折鼻と出水郡東町瀬戸の目之浦を結び、長島、牛深をはじめ、阿久根、出水地方の産業の開発、観光資源の開発も促進され、ひいては熊本県牛深および天草を結ぶ重要な産業、観光のかけ橋ともなるものです。

を凝ってみてください。応募していただいた、すばらしい意見、楽しいビジョンは、今後市政にできる限り取り入れて行くことになっていきます。

論文を募集

明治百年を記念して

阿久根市では明治百年記念事業の一つとして小・中・高校および一般市民のかたから、論文(作文)を募集します。五十年後の阿久根市の姿、発展の過程、市民の心構えといつたものをおりまして、豊かなビジョン

また入賞者の文は公表する予定です。(高校、一般の部) 題名：五十年後の阿久根 内容：明治百年をふりかえり、五十年後を目標とした、新鮮で楽しいビジョン。



(ありし日の静興)

郷土の明治百年人物史

(その6)

中村 静興

私どもは、温泉と聞いただけで心がなごんできます。それだけ温泉は、私どもの精神的肉体的に大事な役割をはたしているばかりでなく、観光のうえからも欠くことのできない資源でもあります。

阿久根は、幸いにも温泉に恵まれ、朝夕この恩恵に浴しています。そのもと、医師の中村静興によって開発されたもの。次のような話があります。

それは今から60年前の明治40年頃のことです。中村医師はいかかわらず朝の高松川で水浴を終え、いつもの川端にはえた一本の松の下に近よっていました。

中村医師は、夏も冬も一年中、日課のはじめを高松川での水浴と決めていたのです。すると、水ぎわの水温が暖かい感じがします。「ハテナ、このへんに湯でも湧くのかな」と自分の感じを疑っていましたが、次の朝も同じで温度計を持ち出してはかりましたが、数度も温度が高いことがわかりました。

そのころ、不思議な夢をみました。それは、いつものように水浴のため川におりて行くと、一本の松の根本に一羽の傷ついた鶴がいて、松の根もとの湯に傷を浸してなおしている夢でした。

中村医師は、かねて湯井を掘る準備としていろいろな本を調べ、旅行のときは、温泉の実情を研究していましたが、この夢に勇気づけられ「これこそ神の導きだ」として、さっそく湯井を掘ることに着手したのでした。

しかし、この事業はなかなか大事業で、しかもどれだけ掘ると湯が出るというあてない、金のかかる仕事でした。ときは明治44年10月で、当時村人は「中村医師は気が狂ったらしい」とささやき合ったものでした。しかし「必ず湯が出る」と確信しあらゆる困難を克服して事業を進め、その翌年の明治45年4月23日ついに湯の噴出に成功したのでした。

中村医師はその従事したひとびととともに「バンザイ」を叫びさっそくこの湯を、鶴が導いた湯として「鶴島温泉」と名づけました。これが現在の鶴島温泉の前身です。

中村医師はその後、大正6年から9年まで衆議院議員として活躍し、郷土の発展に貢献しましたが、おしくも昭和2年62歳で他界されました。

おくやみ(四月分)

Table listing names and amounts for the April contribution. Includes names like 佐野 次郎 (80), 坂元 ユミ (79), etc.